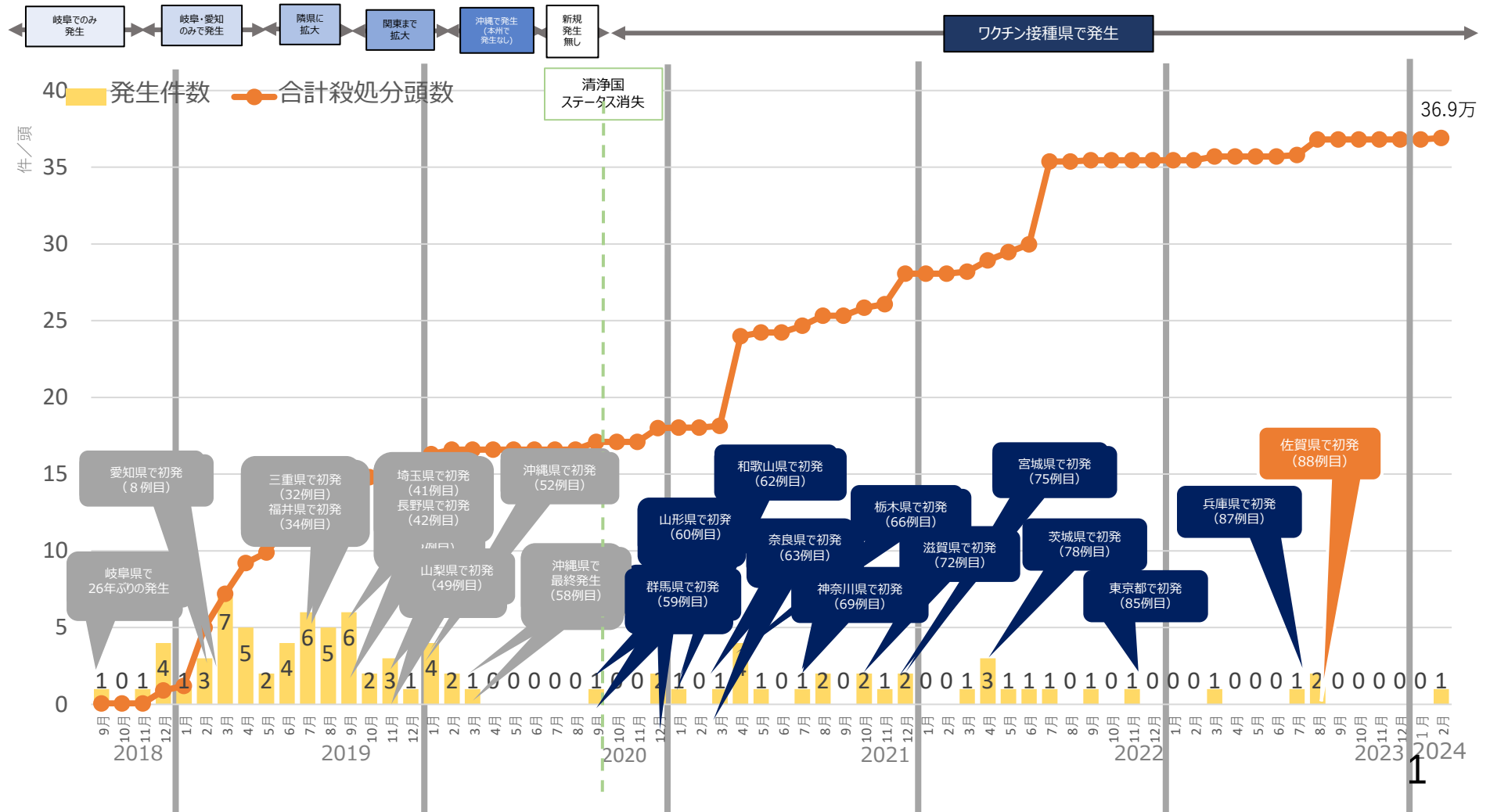


【資料 4】

豚熱の発生状況及び防疫措置について

豚熱発生経過

- 2018年9月9日の岐阜県での発生以来20都県で計90事例発生し、これまでに約36.9万頭を殺処分。
- 2019年9月24日にワクチン接種を決定、10月15日に防疫指針を改訂、10月25日からワクチン接種開始。
- 2020年9月3日にWOAH（国際獣疫事務局）が認定する豚熱の清浄国ステータスを消失。
- 群馬県、山形県、三重県、和歌山県、奈良県、栃木県、山梨県、神奈川県、滋賀県、宮城県、茨城県、兵庫県といったワクチン接種県においても発生。令和5年8月末には九州において初めてとなる佐賀県において豚熱が発生。発生地域の周辺をはじめ九州全県で、検査を強化しているが、これまでのところ野生イノシシでは全て陰性が確認されており、飼養豚における続発も無い状況。



豚熱飼養豚発生県、野生イノシシ発生県、予防的ワクチン接種推奨地域

- 予防的ワクチン接種の対象地域は、**防疫指針に基づき**、以下を考慮し、**牛豚等疾病小委員会**で議論した上で設定。
 - ① **野生イノシシにおける豚熱感染状況**
 - ② 農場周辺の**環境要因**（野生イノシシの生息状況、周辺農場数、豚等の飼育密度、山、河川の有無等の地理的状況）
 - ③ 疫学的リスク低減のため、**まだら打ちを避ける**（面的に接種し順に拡大）
- 令和5年8月末の佐賀県における豚熱発生事例以降、九州における飼養豚へのワクチン接種について**令和5年12月末までに全県で初回接種が終了**。

飼養豚陽性発生県：赤色（ただし、斜線は、令和5年度以降発生なし。）

【20都県】（飼養頭数 2,721,030頭(全国の30.4%)）

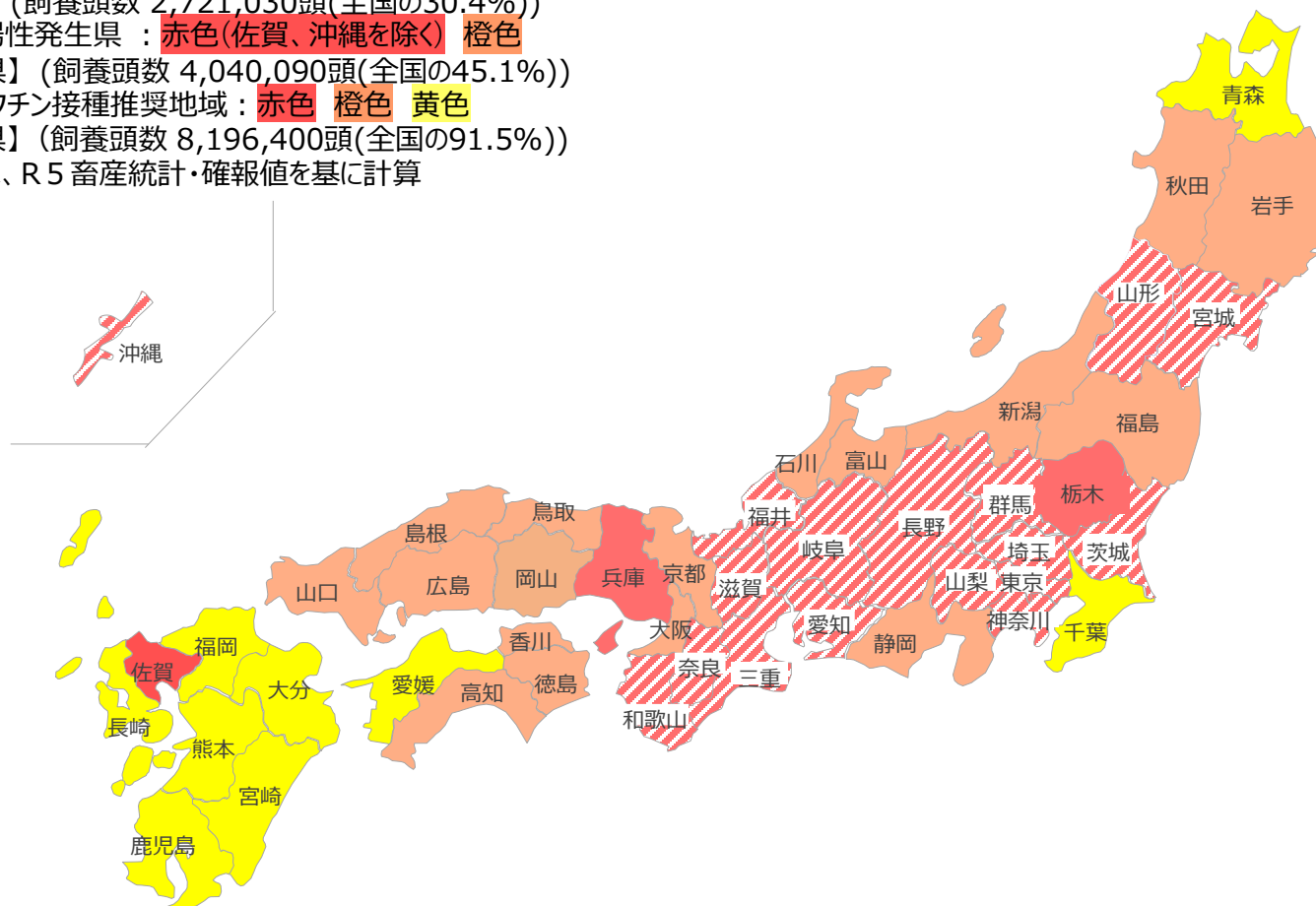
野生イノシシ陽性発生県：赤色(佐賀、沖縄を除く) 橙色

【35都府県】（飼養頭数 4,040,090頭(全国の45.1%)）

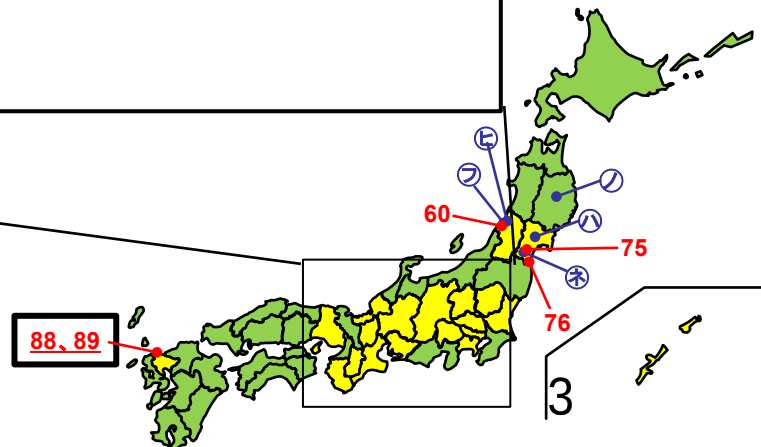
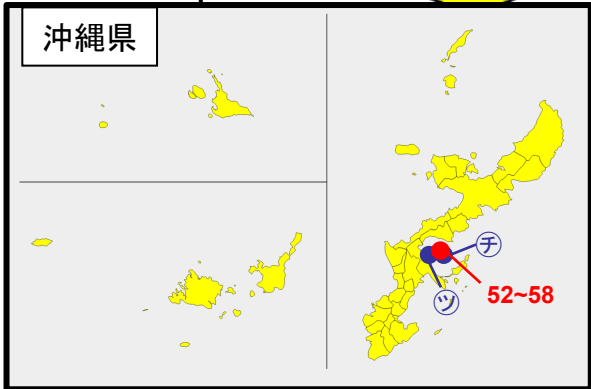
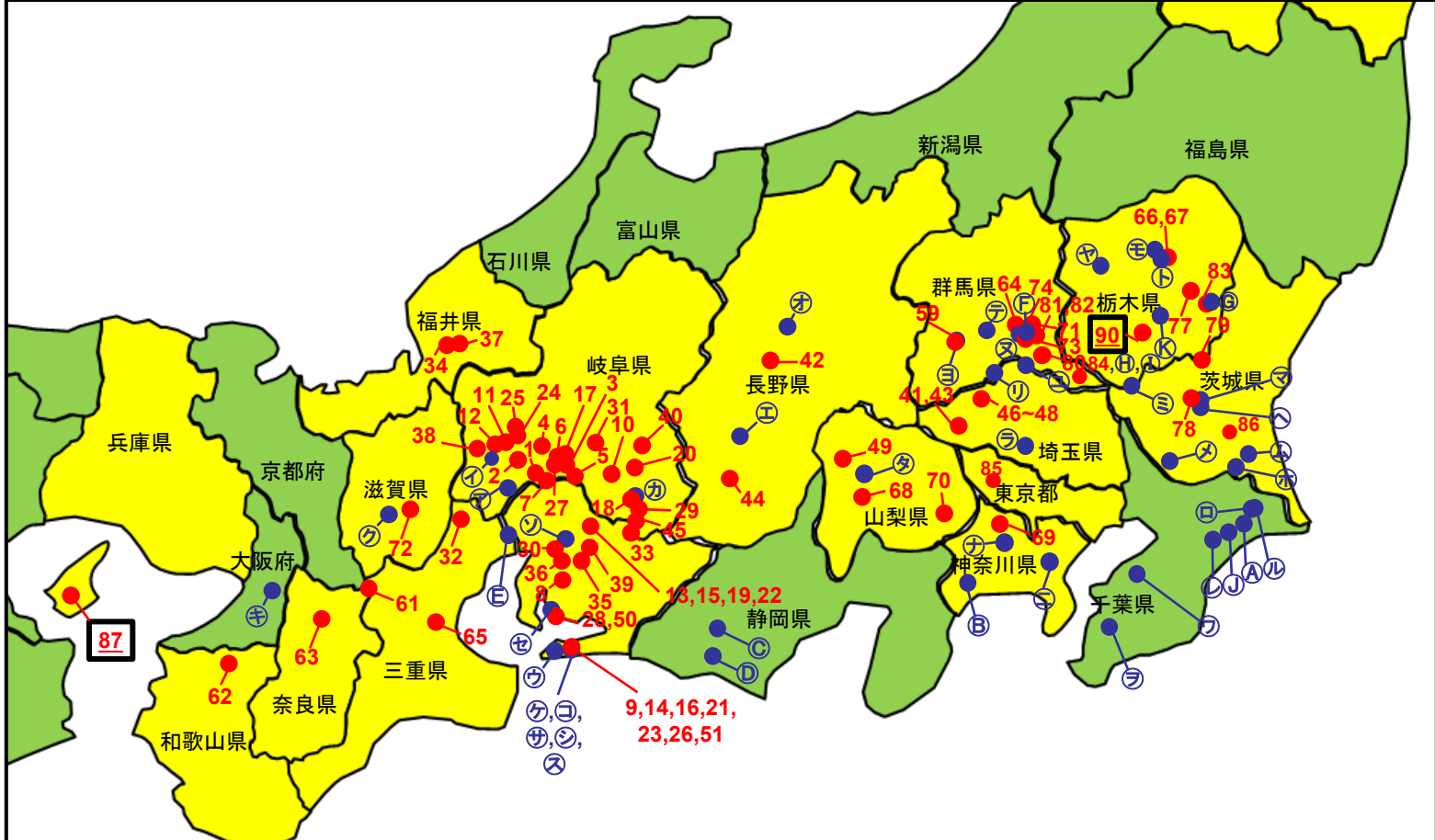
飼養豚へのワクチン接種推奨地域：赤色 橙色 黄色

【46都府県】（飼養頭数 8,196,400頭(全国の91.5%)）

※飼養頭数は、R5畜産統計・確報値を基に計算



豚熱の防疫措置対応(概要)



豚熱の防疫措置対応（概要）

令和6年2月29日8時00分現在

発生場所				防疫対応状況				
				措置完了日（0日目）		防疫措置に 要した日数	17日目	28日目
				防疫措置（殺処分、消毒等）			搬出制限区域	移動制限区域
				開始	完了		解除	解除
87	豚一貫農場 （兵庫県南あわじ市）	2023年 7月22日	約650頭	7月22日 17時00分	7月31日 10時30分	8.6日	ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない	
88	豚一貫農場 （佐賀県唐津市）	2023年 8月30日	約450頭	8月30日 20時00分	9月2日 14時50分	2.8日	10月9日9時解除	10月19日0時解除
89	豚一貫農場 （佐賀県唐津市）	2023年 8月31日	約10,000頭	8月31日 20時00分	9月20日 21時00分	20日	10月9日9時解除	10月19日0時解除
90	豚一貫農場 （栃木県栃木市）	2024年 2月16日	約1,100頭	2月16日 18時00分	2月29日 8時00分	4.8日	ワクチン接種地域であるため、制限区域 は設定しない	
	関連施設（K） （栃木県芳賀町）	関連施設	（搬入頭数 26頭）	2月16日 18時00分	2月29日 8時00分		－	

(参考) 発生から防疫措置終了 までの平均日数		規模別				
	全体	～1000頭	1000頭 ～5000頭	5000頭 ～10000頭	10000頭 ～50000頭	50000頭～
	6.6日	3.1日	5.6日	7.9日	20.5日	68.9日

- 発生県においては、各事例について課題の洗い出しと対応を検討するようお願いいたします。
- 迅速な防疫措置を行えるよう、引き続き農場における埋却地等の確保状況、動員計画等を点検・確認するとともに、関係者も含めた防疫演習を実施するようお願いいたします。